

事前の申込みはいりません

おひざにだっこの会 (対象:0~3歳児とその保護者)

内容:絵本の読み聞かせと手遊び等

- ◇ 1月6日(金) 10:30~11:00
- ◇ 1月27日(金) 10:30~11:00
- ◇ 2月3日(金) 10:30~11:00
- ◇ 2月24日(金) 10:30~11:00
- ◇ 3月2日(金) 10:30~11:00
- ◇ 3月23日(金) 10:30~11:00



わくわく♪おはなし会 (対象:4歳~小学生)

内容:ストーリーテリング

- ◇ 1月28日(土) 10:30~11:00
- ◇ 2月25日(土) 10:30~11:00
- ◇ 3月24日(土) 10:30~11:00



月釜茶会 9:30~15:00

茶券:当日券 700円

◇ 3月11日(日)

新館席主:表千家同門会 田村 宗和 氏

別館席主:裏千家淡交会 平栗 宗貞 氏

岩手にゆかりのある作家の図書寄贈のお願い

盛岡市中央公民館では、当館で開催予定の展示会「岩手の文学展」で紹介する岩手県にゆかりのある作家の図書を集めています。寄贈いただいた図書は、文学展における展示資料、中央公民館図書室での貸出図書(「岩手の文学者コーナー」に配架)などに利用させていただきます。

- お問い合わせ・寄贈(送付)先
- 〒020-0013 岩手県盛岡市愛宕町 14-1
- 盛岡市中央公民館 事業係

図書室利用のしおり

図書室 □一般書 □実用書 □雑誌 □郷土図書
 母と子の読書室 □童話 □絵本 □児童書 各種

盛岡市に住んでいる、または、通勤・通学している方は、どなたでも図書室の本を借りることができます。

- I 図書室受付で登録手続きをしていただきます
- II 個人貸出券を1人3枚発行します
- III 貸出券1枚につき本を1冊貸出ます
- IV 期間は2週間です
- V 登録内容に変更が生じた場合や紛失した場合は届出が必要となります



■本の貸出延長について

- ・ 貸出本を図書室にお持ちいただくか、電話でも受付けます。その際に新たな返却期限日をお知らせします。
- ・ 貸出延長は2週間までとします。
- ・ 予約本・新着本は延長できませんのでお気を付けてください。

■予約

- ・ 借りたい本が貸出中の場合は、予約することができます。カウンター職員にご相談ください。
- ・ 貸出準備完了の連絡後、1週間経過しても取りに来られない場合は、次の貸出予約の方にお貸しするか、書架に戻します。

■図書返却ボックス

図書室閉室時は公民館入り口の返却ボックスをご利用ください。

～ 岩手の文学者コーナーを新設 ～

当館で開催予定の展示会「岩手の文学展」に先がけて、図書室の中央に「岩手の文学者コーナー」を設置しました。さらに隣接する棚に郷土図書を移しましたので、よりいっそう郷土書を手に取りやすくなりました。

開室時間・休室日

午前9時～午後5時

毎週月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始

「中央公民館だより」次回は4月1日発行です。

2012.1.1

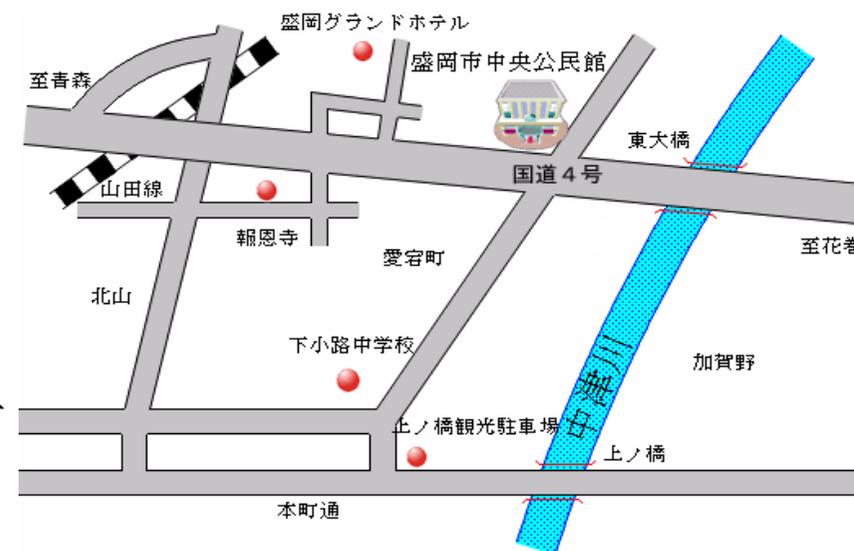
中央公民館だより



【重要文化財 旧中村家住宅 裏庭】

恭賀新春

- ◎ 冬の講座案内 ◎ 講演会のご案内
- ◎ 3.11 絵本プロジェクトいわて活動報告
- ◎ おひざにだっこの会 ◎ わくわくおはなし会
- ◎ 月釜茶会 ◎ 図書室利用のしおり



盛岡市中央公民館 盛岡市愛宕町 14 番 1 号 TEL019-654-5366

1月の休館日: 1日・2日・3日・10日・16日・23日・30日

冬の講座案内

往復はがきでの申込みです。講座名・郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号を記入し、中央公民館(〒020-0013 愛宕町14-1)へ送付してください。

古典文学入門講座「万葉集の世界」

1/21~2/18 土曜日(全5回)

10時~12時

申込期限: 1/4(水)

定員: 30人

受講料: 1000円

講師: 岩手県立大学盛岡短期大学部教授 松本 博明 さん

和の文化講座「和の心」

1/24~2/21 火曜日(全5回)

9時半~11時半

申込期限: 1/9(月)

定員: 25人

受講料: 1000円(材料費・教材費別途)

講師: 盛岡市茶道協会会長 澤野 桂子 さん ほか

講演会のご案内

おひとりさまの最期

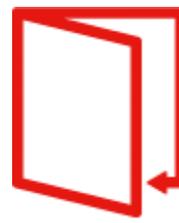
~ひとりで家で死ねるか?~

ベストセラー「おひとりさまの老後」の著者

東大名誉教授 上野千鶴子さんの講演会です。

◇ 平成24年2月11日(土・祝) 10:00~11:30

中央公民館(☎019-654-5366)へ
お電話で申し込んでください。



3.11
絵本プロジェクト
いわて
Books for Children

活動報告

1、提唱

国際的な児童図書編集者・末盛千枝子さん(彫刻家 舟越保武さん長女)から「被災地で心の傷を負った子どもたちへ絵本を贈ろう」という活動の提唱があり、盛岡市中央公民館を拠点に、盛岡市内のNPO団体(いわてアートサポートセンター、参画プランニングいわて、盛岡市婦人ボランティア野の花会)や盛岡教育事務所が参加してはじまったプロジェクトです。

2、本の集積と分類

(1) 12月20日現在の集積状況

231,787冊(全国から0歳から小学生を対象とした絵本等)

(2) 開梱・分類の状況

活動当初は年齢別に四分類しコンテナに仕分けしていた。現在、分野別・作家別分類にしたものを最終分類しています。

3、ボランティア

(1) 開梱・分類作業

盛岡市中央公民館創作展示室で午後1時~3時、毎日20人~30人程度の女性中心のボランティアが荷解きと分類の活動を展開。(12月23日現在、133日間 延べ2,814人)

(2) 配送・読み聞かせ

絵本は、避難所、仮設住宅、小学校、幼稚園、保育所等に直接、絵本ケース(コンテナ)に50冊程度まとめ、被災地の希望に沿った分類をして届けています。5月末からは幼稚園・保育園には「えほんカー」(軽トラックを改造。日本で初開発)で届けています。希望があれば開梱・分類作業を行っているボランティアが読み聞かせも行っています。

4、えほんカー

「えほんカープロジェクト」を4月から開始し、1号車が5月20日に完成。日本郵便年賀寄付金配分の決定により、6号車まで発注し、8月7日に納入された。被害の大きかった自治体(ボランティア団体含む)へ絵本満載のえほんカーをプレゼント。8月10日大槌町、9月6日宮古市、10月18日釜石市、12月7日普代村、12月16日に大船渡市に1台寄贈しました。



5、寄贈実績

4月4日、宮古・山田を訪問したのを始めとして、12月22日現在、209ヶ所にあわせて76,625冊を寄贈しました。(北は青森県八戸市、南は宮城県石巻市まで14市町村に寄贈)

「えほんカー」が被災地を走り、子どもたちが自分の好きな本を選べるということが、とても喜ばれています。



3.11
絵本プロジェクト
いわて
Books for Children

被災地の子どもたちに絵本を届けよう!
活動の展開

